

オーバルネクストETF情報

2011年1月31日号



TEL 03(5641)5777

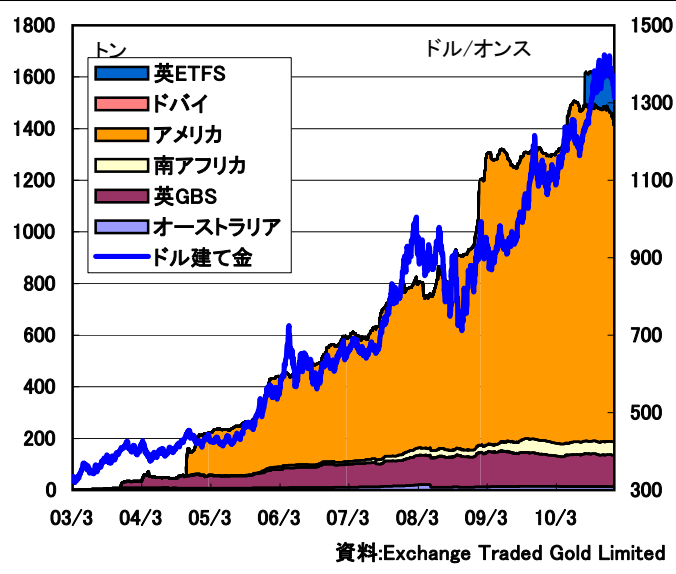
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 Oval Next Corp.

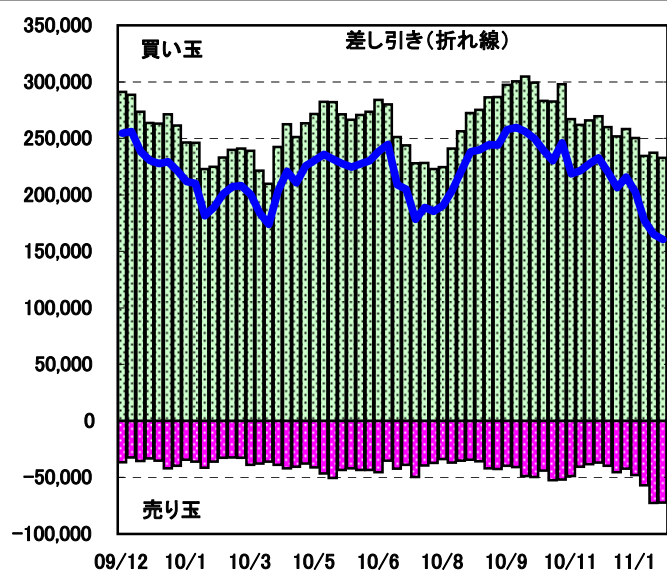
ETF残高急減、先物買いは縮小

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



NY金の取組高はヘッジファンドの手じまい売りで急減

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、1月25日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは16万0,589枚となり、前週の16万4,993枚から縮小し、2009年7月14日以来の低水準となった。今回は手じまい売りが4,679枚、買い戻しが275枚入り、買い越しを4,404枚縮小した。一方、28日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比47.65トン減の1,224.12トンとなった。米景気回復期待などを背景に金ETFの売り圧力が高まった。また先物市場では31日に2月限の受渡通知開始日を控えて手じまい売りが進んだ。ニューヨーク金の取組高急減に関して、一部ヘッジファンドのまとまった売りが指摘された。

ドル建て現物相場は、2010年12月7日に史上最高値1,430.09ドルを付けた。欧州の債務不安に加え、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長が量的緩和を拡大する可能性を示唆したことなどが支援要因になった。プッシュ減税の延長合意をきっかけに国債増発懸念が出て長期金利が上昇すると、調整局面を迎えた。その後は欧州の債務不安の再燃などが下支えになると、ドル安などに支援されて約1カ月ぶりの高値1,423.32ドルを付けた。ただ年明け後は米景気回復期待や中国の利上げなどを受けて再び調整局面を迎え、28日に昨年10月1日以来の安値1,308.12ドルを付けた。ただ週末にはエジプトの政情不安をきっかけに急反発した。

ロイター調査で、今年の金平均価格見通しが1,450ドルとなり、価格堅調が予想されている。しかし、米景気回復期待などを背景に金ETFの現物保有高が減少し、投資資金の流出が続いている。米連邦公開市場委員会(FOMC)では低金利政策と国債買い取り継続が決定され、過剰流動性相場が続くとみられるが、ユーロ圏ではインフレ懸念などを背景に欧州中央銀行(ECB)の流動性支援措置の解除などが意識されている。今週は米雇用統計などが焦点である。

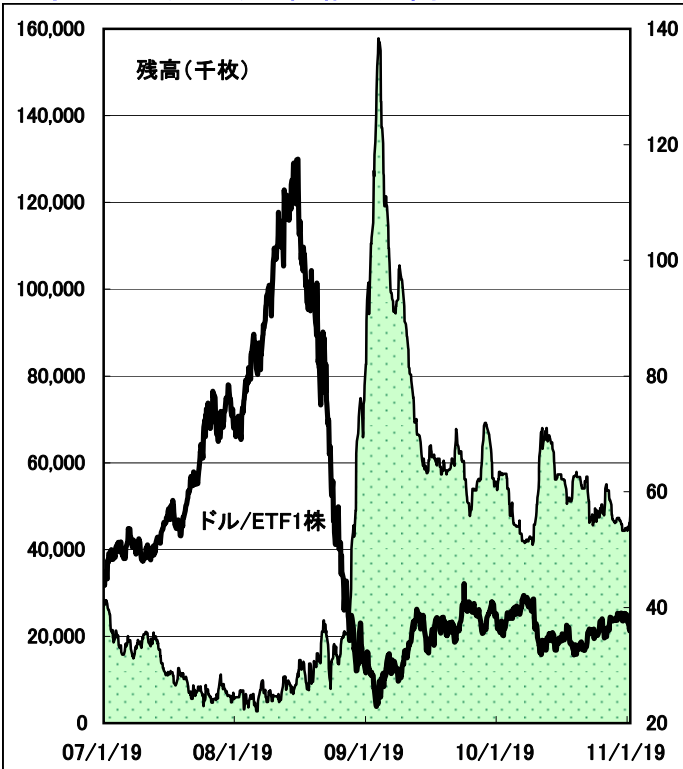
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月31日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

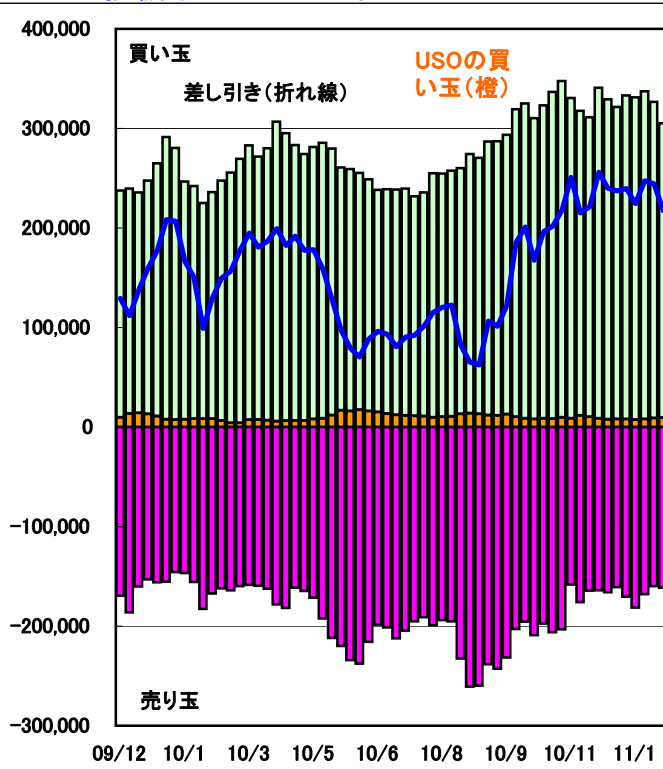
ETF残高増加もNY先物買いは縮小

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は1月28日時点で4,790万株となり、前週末比270万株増加した。ニューヨーク原油は石油輸出国機構(OPEC)増産の可能性や在庫増加などを受けて軟調となったが、週末に急反発した。USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は28日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で1万0,130枚(前週末比1,134枚増)、Financial Futureが2,000枚(同変わらず)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で8,000枚(同変わらず)となっている。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、1月25日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は30万5,004枚(前週32万6,830枚)、売り玉は16万1,687枚(同16万0,279枚)で14万3,317枚の買い越しとなり、前週の16万6,551枚の買い越しから2万3,234枚買い越し幅を縮小した。USOの買い玉は大口投機家の3.1%(同2.7%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が5万2,244枚(同5万9,918枚)、売り玉は1万1,904枚(同2万0,708枚)で4万0,340枚買い越し(同3万9,210枚買い越し)に拡大した。USOの買い玉は大口投機家の15.3%(同13.4%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
11/1/24	36.93	10,681,766	45,200	8,996	2,000	8,000	11/3
11/1/25	36.27	9,660,885	46,000	9,332	2,000	8,000	11/3
11/1/26	36.85	11,026,412	46,000	9,332	2,000	8,000	11/3
11/1/27	35.94	9,837,421	46,600	9,584	2,000	8,000	11/3
11/1/28	37.58	30,266,047	47,900	10,130	2,000	8,000	11/3

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

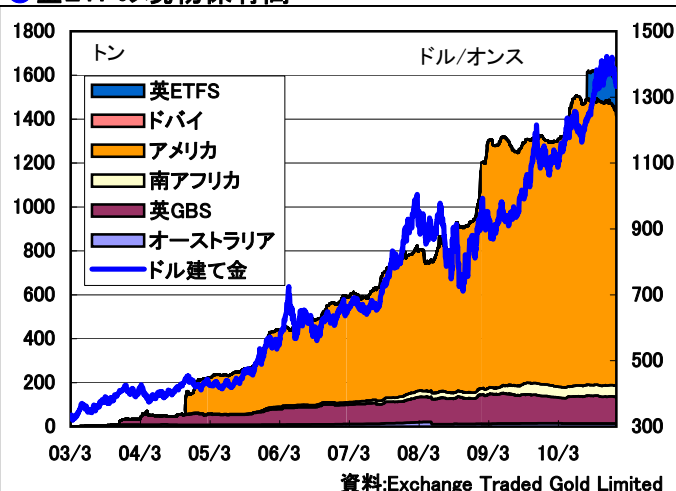
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月31日記)

<免責事項>

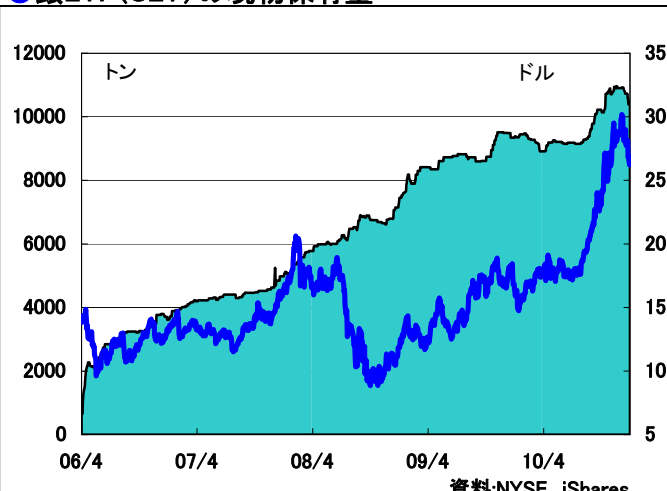
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

NYの金ETFの現物保有高が急減

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界13カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、1月26日時点で1550.80トンとなり、前週末比42.19トン減少した。ニューヨークで42.19トン減少した。米国の景気回復期待などを背景に売られた。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比53.17トン増の1万0447.7トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量はロンドン(コード:PHAG)が同10.88トン減の950.63トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同12.39トン減の504.79トンとなった。米国の景気回復期待で工業用需要の増加が見込め、SLVが買われたが、商品市場全体でリスク回避の動きが出たことなどを背景に売られやすくなっている。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFS	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
11/01/20	14.21	121.34	134.41	51.10	1251.43	0.15	1572.65	1,345.87
11/01/21	14.21	121.34	134.41	51.10	1271.77	0.15	1592.98	1,342.96
11/01/24	14.21	121.34	134.41	51.10	1260.84	0.15	1582.06	1,334.70
11/01/25	14.21	121.34	134.41	51.10	1229.58	0.15	1550.80	1,332.28
11/01/26	14.21	121.34	134.41	51.10	1229.58	0.15	1550.80	1,345.52

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(26日現物保有は116.55トン)、米ETFセキュリティーズ(26日25.53トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(14日188.46トン)など。

資料: Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
11/01/20	26.85	42,390,347	10,575.3
11/01/21	26.83	27,187,352	10,394.5
11/01/24	26.36	22,840,808	10,478.1
11/01/25	26.23	24,642,399	10,478.1
11/01/26	26.89	21,756,946	10,447.7

単位: 価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料: NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 26日950.63トン、NY 26日504.79トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(14日2,396.03トン)。

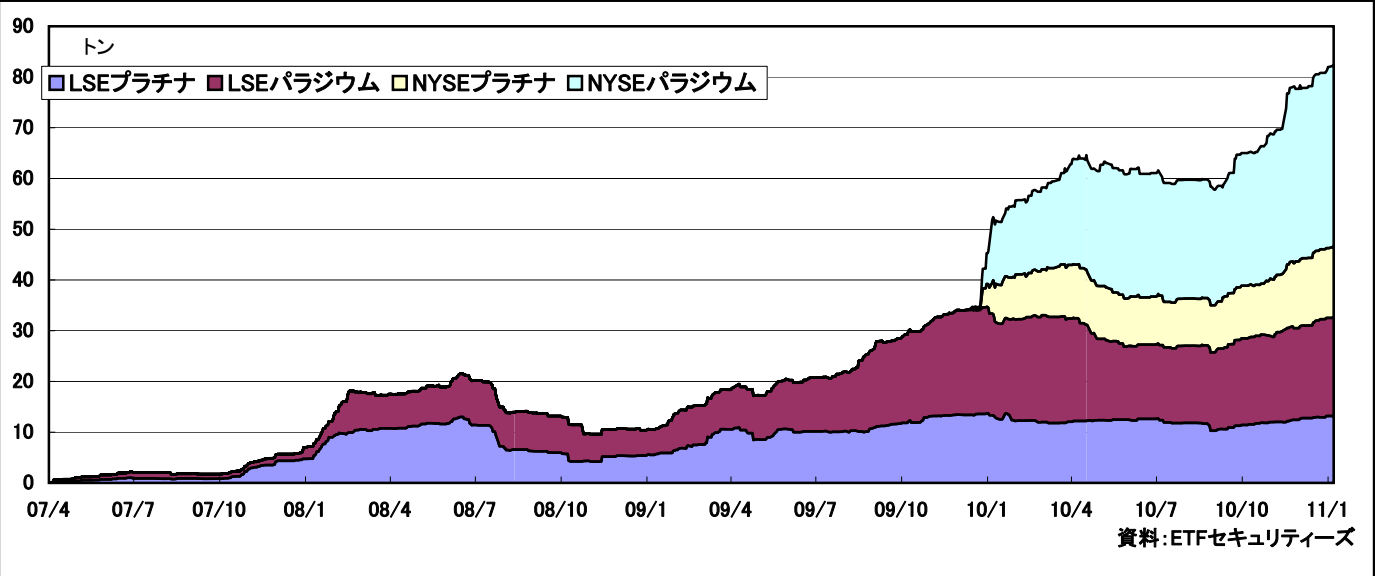
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月27日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

プラチナ・パラジウムETFの現物保有高が増加

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は26日時点でプラチナが13.19トン、パラジウムが19.43トンとなった。19日からプラチナが横ばい、パラジウムは0.09トン増加した。パラジウムは自動車販売の増加見通しやロシアの在庫に対する懸念などを背景に上昇が見込まれている。LSEのプラチナは2008年7月に13.01トンまで増加したのち、自動車販売減少や景気後退による需要減少懸念などを背景に売られて減少した。ただ欧米の金融危機対策などを受けて2008年11月下旬の4.19トンを底にして再び買われた。パラジウムは2008年7月の8.84トンをピークに減少したが、2009年1月後半の4.98トンを底にして再び買われて昨年9月以降に急増した。2010年3月に過去最高21.09トンを記録したのちは景気回復の勢いの衰えなどを受けて減少したが、6月の14.39トンを底にして再び買われた。

一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は26日時点でそれぞれ13.91トン、35.86トンとなった。19日からプラチナは0.15トン増、パラジウムは0.77トン増となった。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
11/01/20	13.19	19.33	961.52	136.49	13.76	35.71
11/01/21	13.19	19.33	961.52	136.92	13.76	35.71
11/01/24	13.19	19.33	950.63	136.97	13.91	35.71
11/01/25	13.19	19.43	950.63	136.60	13.91	35.71
11/01/26	13.19	19.43	950.63	136.29	13.91	35.86

単位:トン

注:プラチナ・パラジウムETFは他にスイスのチューリッヒ・カントナル・バンクが販売。14日はそれぞれ10.48トン、13.89トン。

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/1月27日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。